



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2007年（平成19年）9月25日号 No. 1408

目次

■ズプコフ・ロシア新内閣の顔ぶれ	1
■統計速報	7
2007年1～6月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／7	
2007年1～6月の日ロ貿易／8	
■トピックス	10
ジャストシステムがロシア製ソフトの販売を開始／10	
オリックスがカザフ商銀と提携／10	
■ロシア新着企業情報	10
■ロシアNIS貿易会関連の行事予定	10
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート	11

ズプコフ・ロシア新内閣の顔ぶれ

はじめに

ロシアのプーチン大統領は9月24日、ズプコフ新内閣の閣僚を任命した。ズプコフ氏が首相に就任したのは14日であり、当初は1週間以内に組閣が完了するとされ、現にズプコフ首相は18日に政府の新機構と閣僚人事に関する提案をプーチン大統領に示していた。結局、組閣は24日までずれ込む形となり、大統領の後継問題をにらんで神経質な攻防が繰り広げられたであろうことをうかがわせる。

ただ、フタを開けてみれば、新内閣の顔ぶれはほぼ当初の予想どおりであり、これといったサプライズ人事もなかった。フラトコフ前内閣の大半の閣僚が留任し、プーチンの有力な後継者候補と見なされているイワノフおよびメドヴェージェフ両第一副首相もポストを保持した。グレフ経済発展貿易相の退任も、既定路線であろう。

今回の速報では、ズプコフ新内閣の顔ぶれを整理し、新閣僚のプロフィールを掲載するとともに、主に経済閣僚の去就に焦点を充てながら、現地マスコミの報道振りを抜粋してお届けすることとしたい。